

『S 状結腸軸捻転症の治療成績の検討』

【目的】S 状結腸軸捻転症の治療として、海外では内視鏡的整復後に予防的手術を行うことが推奨されています。S 状結腸軸捻転症の患者さんは複数の併存症をもち ADL も低いことが多く、症例により治療法の選択が異なります。今回、当院での S 状結腸軸捻転症の治療成績を検討します。

【期間】2024 年 10 月 4 日～2026 年 3 月 31 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2010 年 1 月 1 日～2024 年 9 月 30 日までに当院で S 状結腸軸捻転症の治療を受けた方

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：年齢や性別、体重、内服薬などの患者情報、血液検査結果、治療方法や合併症、その経過などの情報等

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
院長 細野 昇

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1
TEL (072) 840-2641 (代)
所属・職名 消化器内科 医長
研究責任者 渡部 嘉文